

美東総合支所庁舎等複合施設に関する 市民ワークショップニュース

No.6

2022.12.19

第6回市民ワークショップを開催しました

※ワークショップとは、グループに分かれて意見やアイデアを出し合い、考えをまとめていく話し合いの手法のことです。

美東総合支所庁舎等複合施設の整備に向け、ワークショップの開催をはじめ住民の皆さんとともに検討を重ね、令和2年1月に基本設計を策定しました。

昨年度に引き続き、今年度の市民ワークショップでは、「交通・買物・通院」「子ども・子育て」「施設・情報・災害・ICT」の3つのテーマについて話し合いを進めてきました。

最終回となった今回のワークショップでは、これまでのワークショップの内容や実施設計に反映された点などを振り返るとともに、3つのテーマに関し、市民との関わり方等について議論を深めました。各部会の発表では、本ワークショップ終了後の活動に関する提案があったり、寸劇仕立ての楽しいプレゼンテーションがあったりと、参加者の皆さんは、最後まで楽しみながら取り組まれていました。ワークショップ終了後は、設計を担当している株式会社龍環境計画から、現時点での実施設計の説明も行われました。

◆第6回(11月16日)の様子

「交通・買物・通院」部会



「子ども・子育て」部会



「施設・情報・ICT・災害」部会



発表のようす



◆グループワークでの話し合いの内容

交通・買物・通院

ルートの具体案と新施設における停留所の位置を考えました。

1. 新しい交通機関については、以下の3ルート进行想定。

①外周ルート(時計回り)

【停留所】総合支所(新複合施設)、美東病院、サイサイみとう、ナフコ、イワちゃん、セブンイレブン、JA、社会福祉協議会

②①の逆まわり(反時計回り)

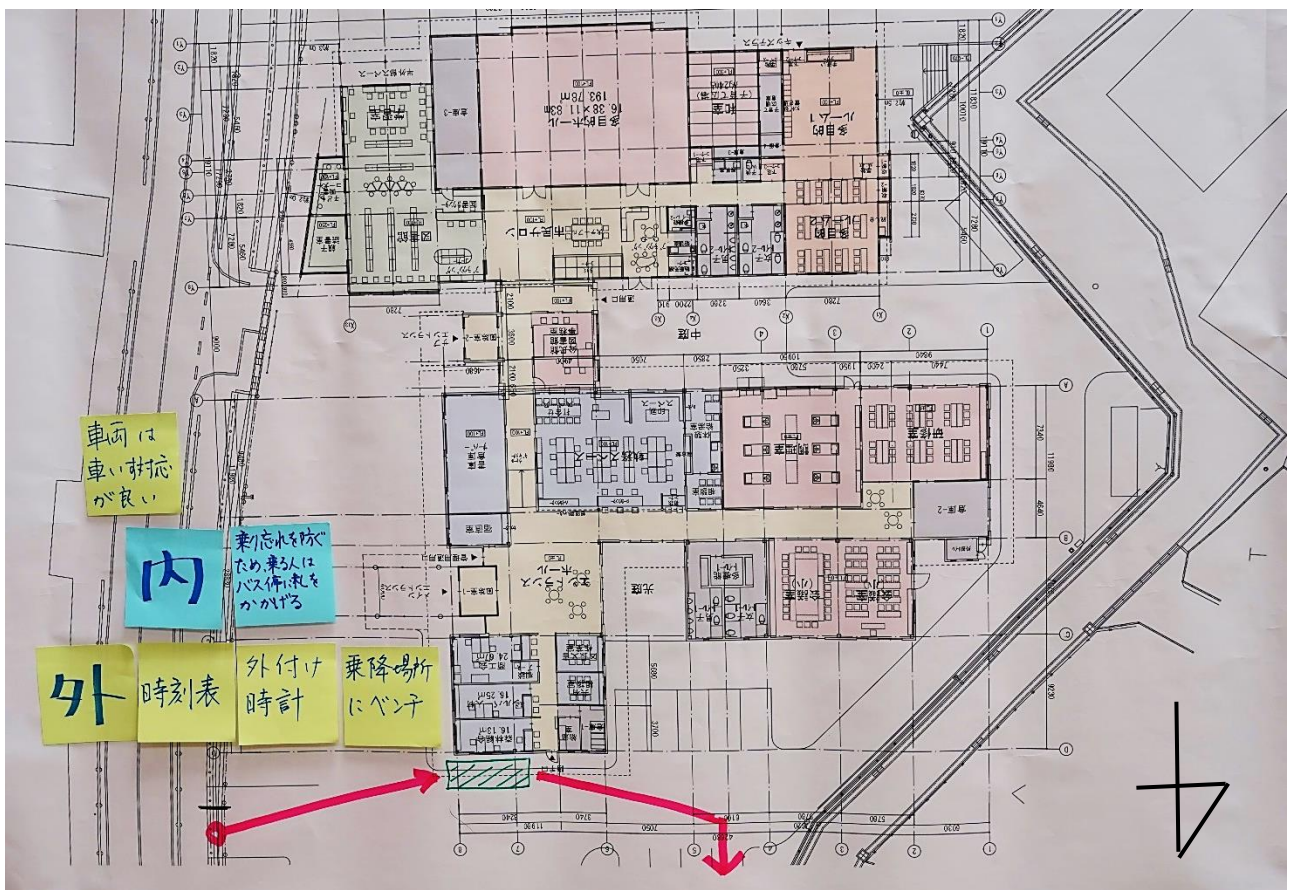
③中心部を縦断するルート

【停留所】郵便局、小田商店、総合支所、吉崎、ナフコ、イワちゃん、サイサイみとう、美東病院

※このルートのデメリットとして、ちょっと寄り道したいときに、一度降車すると待ち時間が長くなってしまふことが挙げられる。

2. 新複合施設におけるバスの停留所について

- ・位置は、バスの動線を考えると、施設の北側勝手口の横(下図の手書き斜線部分)が良いだろう。
- ・乗降場所にベンチ、時計、時刻表が必要。
- ・施設内で待機する人が、乗り忘れないような工夫があると良い。(乗る人はバス停に札を掛けて、乗務員が確認できるようにするなど)
- ・車椅子対応の車両にしてほしい。



子ども・子育て

図書館や公民館の運営について話し合いました

【図書館や多目的ホールであつたらいいなと思うイベント等】

- ・子どもが読んで、大人も含めた色々な人が聴く紙芝居
- ・子どもが高齢者に折紙を教える。
- ・図書館の壁面を子ども達が装飾する。
- ・図書館の一角に、季節に合わせた特集コーナーを作る。
- ・読み聞かせと音楽を組み合わせたコンサート
- ・多目的ホールを使った定期的な映画会(特に夏休みなどの長期休暇のときに開催してほしい。)
- ・手話ボランティアの講習会
- ・季節ごとの工作教室(クリスマスツリー、竹とんぼ等…)

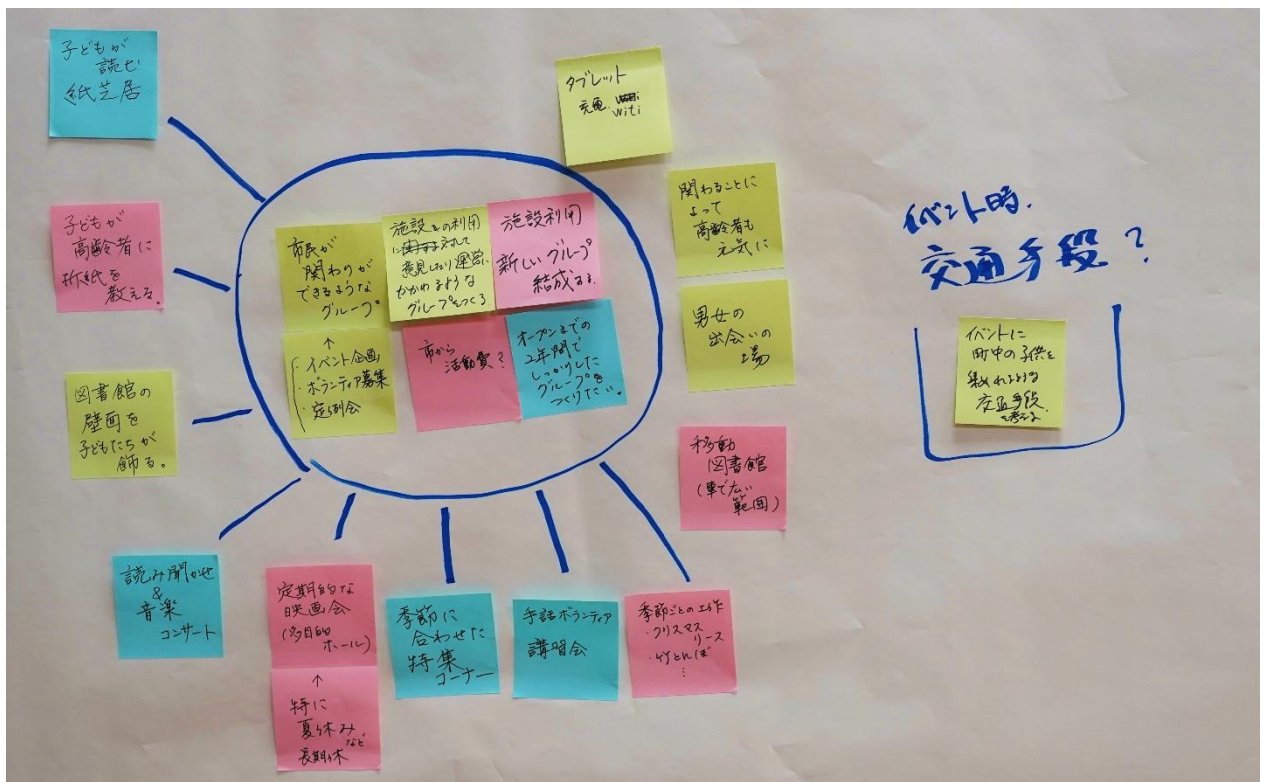


これらを企画するために、市民が関わるような新しいグループを作りたい。

オープンまで約2年間あるので、この期間を利用すればしっかりした組織が作れるのでは。

【その他の意見】

- ・良いイベントがあっても、交通手段がなければ遠方の住民は来ることができない。
- ・定期的に車で回る移動図書館のようなものがあると良い。



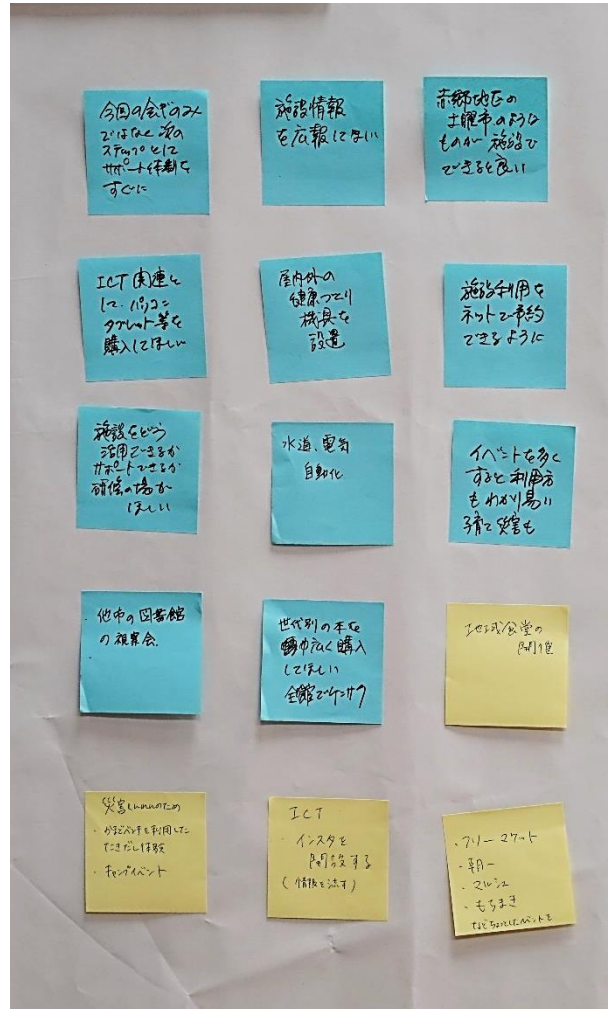
施設・情報・災害・ICT

主に施設の利用に関することについて話し合いました

- ・新施設の周りにランニングコースを作るなど、住民の体力づくりにつながるようなものがあるといい。
- ・インターネットでイベントや施設利用などの予約ができるようになるといい。
- ・施設内の水道や電気は、エコになるようセンサーによって自動で作動するようになるといい。
- ・ベンチかまどを利用した、災害訓練のための炊き出し体験をしてはどうか。
- ・軽トラ市、フリーマーケット、もちまちなど、ちょっとしたイベントがあるといい。
- ・施設の色んな場所にハートマークがあるなど、インスタグラムなどで話題になってみんなが来たくくなるようなしなかけを。



今回のワークショップだけでなく、次のステップとして、住民がどう施設を活用し、サポートできるかを学ぶ研修やグループが必要だと思う。



ワークショップ終了後の実施設計の説明では、現時点でのイメージ画像などを見せていただきながら、これまでのワークショップで出された意見がしっかりと反映されていることを確認することができました。

また、地元の木材が使われることや、多目的ホールの天井には、木を組み合わせた特徴的な構造が施されることなどの説明を受け、参加した皆さんからの期待も一層高まっているようでした。

このたびのワークショップは、この第6回で終了となります。参加して下さった皆さん、このワークショップニュースを読んで下さった皆さん、誠にありがとうございました。実施設計の完成後には、改めてその内容をお示しする予定としています。

【問合せ先】

美祢市総務企画部

美東総合支所 総合窓口班

TEL 08396-2-5000

FAX 08396-2-5111

Mail m-sogomadoguchi@city.mine.lg.jp